

しまだ議会だより

Shimada City Council
Newsletter

2026
No.102

令和8年8月7日発行

橋わたし

議会
ってなんだ？

特集 * Special feature *

あなたと
島田市議会

topic
01

中学生と島田市議会

topic
02

令和8年6月定例会の
内容をお届けします

Special
feature

あなたと 島田市議会



「知らない」「興味がない」そんなあなたに届けたい！
知っているようで知らない、島田市議会とあなたとの
関係を解説してみました。



市

市議会は、市民の代表である議員が
集まり、市の大切なことを話し

合って決める「議事機関」です。私たちが
住んでいる島田市を住みよいまちにし
ていくためには、道路、水道などの生活
環境の整備や、医療、福祉、教育などの
公的サービスの充実を図っていく必要が
あります。そのためには、お金の使い方
や、仕事の進め方、ルールづくりに関す
るさまざまな課題を解決していかなけれ
ばなりません。

このような課題を解決していくために
は、本来であれば、市民の皆さんが集ま
り、話し合うことが大切ですが、現実的
には、市民全員が集まって話し合うこと
はできません。そこで、市民の皆さんが
「選挙」によって市長と市議会議員を選
び、その人たちが市民に代わって住みよ
いまちにしていくための方法や課題につ
いて話し合い、皆さんの願いを実現しよ
うとしています。その話し合いが行われ
る大切な機関が、議会です。

議会は、市長が進めようとする仕事や、
市民の暮らしにとって本当に必要な、税
金の使い道は適切か——このような点を
多角的に審議し、チェックする役割を
担っています。たとえば、道路や公園、学

議会のしくみ



もっと詳しく知りたい！

という方へ・・・



「島田市議会のトリセツ」をご覧ください！

校、防災、福祉、ごみ処理など、身近な施策に関わる条例(ルール)や予算などを審議し、賛成・反対の結論を出します。また、質問や調査を通じて課題を明らかにし、よりよい改善を求めています。

市民と議会の関係は、選挙で代表を選ぶことから始まりますが、それだけではなく、「請願・陳情」を出す、会議の「傍聴」や「議会だより」で議会を知ること、まちづくりに参加する大切な一歩です。議会は、あなたの声を市政につなげる窓口でもあります。

特集

中学生と

島田市議会



Close up
Shimada

島田第二中学校の生徒の皆さんにご協力いただき、意見交換会を行いました。「議会ってどんなイメージ？」と聞くと「大切なことを話し合う場所」「良い意味で自分とかけ離れた存在」と答えてくれました。また、将来どんな島田市になっしてほしいかという質問には「明るくにぎやかなまち」「観光だけでなく、住む場所として選ばれるまち」などたくさん意見をいただきました。

きました。若い皆さんにとって、議会は遠い存在に感じるかもしれないませんが、実はそんなことありません。議会は皆さんの「声」を市政に届ける大切な場所です。学校のことや、普段の生活に関わることも、議会で話し合われています。若い皆さんが将来どんな島田市にしたいか、ぜひ議会へ教えてください。



▲協力いただいた島田第二中学校の（右から）大石愛莉（おおしあんり）さん、仲安侑香（なかやすゆうか）さん、青島瑚都（あおしまこと）さん

小学生向け主権者教育「選挙について学ぼう」を見学しました！

島田市選挙管理委員会が主催する、小学生向け主権者教育授業「選挙について学ぼう」を、広報・主権者教育に関する特別委員会が見学させていただきました。今年度は初倉南小学校と五和小学校で実施されました。子どもの頃から政治やまちづくりに関心を持つてもらうことで、将来の投票行動につながることを期待しています。



令和8年度議会構成のお知らせ

令和8年6月定例会において、新しい議会構成が決定しました。

6月定例会で副議長 井上篤 を選出！ 議長 清水唯史が継続して議会運営を！



継続的な議会活動の 実現に向けて

議長 しみず ただし 清水 唯史

2年目の議長を務めます、清水唯史です。

今期につきましても、島田市の更なる発展を目指し、議会全体がワンチームとなり、市民の皆様の立場に沿った予算・決算等の審議・審査を充実してまいります。市民の皆様におかれましては、引き続き市議会へ関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

また、令和6年度より、常任委員会の任期を2年に変更し、常任委員会はこれまで同様の委員体制での活動が実現しました。一部の委員や役職などが変更となりますが、これまで以上に市民の期待に応えられる継続的な議会活動の実現を目指してまいります。



「チーム議会」の 形成を目指して

副議長 いのうえ あつし 井上 篤

このたび、6月定例会において副議長に選出されました、井上篤です。身に余る光栄に感謝するとともに、その責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、議長を中心とした「チーム議会」の形成を目指し、議長を支え、円滑な議会運営と市政の発展のために尽力してまいります。

現在、市議会を身近に感じていただけるよう、さまざまな取り組みを行い、試行錯誤を重ねております。議会基本条例の理念に基づく市民に開かれた議会を目指し、市民の声に真摯に耳を傾けながら、皆様の思いや願いを市政につなげられるよう努めてまいります。ぜひ皆様の声を議会にお寄せください。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

議会における「委員会」とは？

議会では、市の予算や条例、さまざまな課題について審議しています。しかし、すべての案件を議員全員で詳しく話し合うことは難しいため、内容ごとに分かれて専門的に審査する「委員会」を設けています。

常任委員会では、それぞれの分野について、所属する議員が執行当局からの説明を受け、質問や意見交換を行ったりしながら、議案などを詳しく審査します。その審査結果を本会議に報告し、最終的な議決を議員全員が参加する本会議で行います。

そのほか、円滑な議会運営のための「議会運営委員会」、必要に応じて設置される「特別委員会」があります。

次のページでは、本市議会の委員会の構成と、それぞれの役割について紹介します。



委員会構成

島田市議会議員は、3常任委員会のうちいずれかに所属し、担当分野を専門的に審査します。

令和8年度の委員会構成を紹介します。なお、議長を除き、委員は、一般会計を審査する予算・決算特別委員会の各分科会を担当します。

総務生活常任委員会

市の戦略などの政策に関すること、行政改革に関すること、市民の生活に関すること、危機管理に関することを審査します。

委員長



よこた がわまさ と
横田川真人

副委員長



まつもと あきら
松本 晃

委員



よこやま かお り
横山香理



たき よしの ぶ
瀧 好伸



もちづき みひこ
望月史彦



かわ い とし や
川合利也



しみずただ し
清水唯史

厚生教育常任委員会

福祉・高齢者介護・子育て支援や健康に関すること、総合医療センターに関すること、教育に関することを審査します。

委員長



いしかわしん たろう
石川晋太郎

副委員長



よつ やめく み
四ツ谷 恵

委員



いのうえ あつし
井上 篤



うち だ おさむ
内田 修



おおぎきよみ 子
大関衣世



あおやままさ とら
青山真虎



いわさきよし み
岩崎好美

経済建設常任委員会

商工や農林業などの産業振興に関すること、観光や文化振興に関すること、都市基盤整備に関することを審査します。

委員長



そ ね たつひろ
曾根達裕

副委員長



あま の ひろし
天野 弘

委員



なか だ あきら
仲田 明



み むらたかひさ
三村隆久



おおいしある ま
大石歩真



や ぎ のぶ お
八木伸雄

委員長 大石歩真
副委員長 大関衣世
委員 松本晃、望月史彦、三村隆久、岩崎好美

議会だよりの編集（年4回発行）及び、夏休み親子議場探検ツアーをはじめとした広報・主権者教育に関する取り組み、調査・研究を行います

広報・主権者教育に関する特別委員会

委員長 井上 篤
副委員長 天野 弘
委員 天野 弘、委員 全議員

予算および決算に関する議案の審査を行うための委員会、次の案件の審査を行います。
・令和7年度島田市一般会計決算
・令和8年度島田市一般会計補正予算案
・令和9年度島田市一般会計予算案
このほか、同特別委員会における審査方法の在り方についても検討します。

予算・決算特別委員会

委員長 天野 弘
副委員長 石川晋太郎
委員 横山香理、瀧 好伸、内田 修、四ツ谷 恵、大関衣世

市議会を円滑に運営するための委員会で、次の調査・検討を行います。
・議会運営
・議会会議規則、委員会条例
・議案の審査
・請願、陳情の審査 など

議会運営委員会



6月定例会 ここがポイント！



令和8年6月定例会は、6月3日（水）から7月1日（水）までの29日間行いました。提出された議案のうち、議会が特に注目した議案と、当局からの報告事項を紹介します。

議案の詳細は
こちら



議案の審査結果

Pick
up 1

小学校児童用端末を購入！

議案第44号 財産の取得について（小学校児童用端末）

全会一致で可決

▶概要

小学校のGIGAスクール構想第2期に対応するため、令和2年度に導入した児童生徒用の一人一台端末を更新する。静岡県及び県内市町が共同し、端末を調達する。市内すべての小学校の1年生から4年生までを対象とし、3,180台を購入する。

▶事業費

169,653,000円

▶スケジュール（指定の期間）

令和8年10月30日を納入期限とする。



Q

ネット依存等の弊害が懸念されるがどう考えているか。

A

国は、紙とデジタルそれぞれの利点を生かして、ハイブリッドな形で有効に活用していくという方針だ。当市としても、デジタルだけに偏らずに、紙の良さも活用しながら、端末も一つの道具として、有効に活用していければと考えている。

Pick up 2

島田市オープンイノベーション拠点施設条例について

議案第36号 島田市オープンイノベーション拠点施設条例

全会一致で可決

▶ 概要

新たにオープンイノベーション拠点施設を設置するため、条例を制定するもの。施設の設置目的や利用対象、シェアオフィス・コワーキングスペースの利用方法、使用料、利用許可や取り消しなどの管理運営に関する基本的なルールを定める。

市内企業や起業家、フリーランスなどが交流・連携し、新しい事業や技術開発（オープンイノベーション）を促進することで、市内企業の生産性向上、新たなビジネス創出、地域経済の活性化を目指す。



Q

今回の取り組みは地域や企業から要望があつてのものか？

A

市からアプローチしたもの。市内企業には商工会議所や商工会等を通じて参画を呼び掛けていきたい。

Pick up 3

消防ポンプ自動車を購入！

議案第43号 財産の取得について（消防ポンプ自動車）

全会一致で可決

▶ 概要

島田市消防団第10分団1部の消防ポンプ車両1台を更新する。指名競争入札の結果、ジーエムいちはら工業株式会社東京営業所より購入する。

▶ 事業費

32,120,000円



Q

購入する消防ポンプ車両はどこに配備する予定か？

A

第10分団1部、金谷本町へ配備する予定。

市からのおもな報告事項

厚生教育
常任委員会

小学校ナイター設備の一部利用休止

令和8年4月、島田第五小学校グラウンドのナイター設備において、一部部品の落下がありました。点検の結果、既存の安定器の一部に低濃度のPCB※（ポリ塩化ビフェニル）含有の可能性が判明したため、該当する安定器を処分します。これに伴い、島田第五小学校のナイター設備は利用休止となります。今後は利用可能な安定器を島田第二小学校に集約し、本年10月以降を目途に島田第五小学校のナイター利用を休止していきます。

※PCB…Poly Chlorinated Biphenyl（ポリ塩化ビフェニル）の略称で、人工的に作られた、主に油状の化学物質。その有用性から広範囲に使用されるも、その毒性が明らかになり1972年（昭和47年）に製造が中止になった。

Q

島田市内のナイター設備のLED化の現状はどのようになっているのか。

A

ナイター設備を有している小学校6校、中学校4校のうち、LED化されている施設はない。そのほか社会体育施設においては、LED化が完了しているのは中央公園庭球場のみ。

経済建設
常任委員会

島田市埋蔵文化財センター開設

島田市埋蔵文化財センターが令和8年7月に開設されます。

旧石器時代から江戸時代までに市内で発掘された、島田市を代表する考古資料を展示しています。その他にも資料室や収蔵室、発見された史料の記録・復元を行う遺物整理室、当時の暮らしや知恵を体験できる体験学習室などが完備されています。随時イベントも開催される予定です。



▶利用案内

開館時間：9時から16時まで

休館日：土日・祝日及び年末年始

観覧料：無料

▶交通案内

JR島田駅より車で15分

コミュニティバス相賀線 相賀小学校下車

Q

夏休みが始まるが、何かイベントを実施するのか？

A

8月9日に「夏休み 大昔の暮らし体験！！」を開催

市からのおもな報告事項

総務生活
常任委員会

国の『特定利用空港』としての利用

国から静岡県と空港に隣接する市町に対し、富士山静岡空港を「特定利用空港」へ追加したい旨の申し入れがありました。

自衛隊や海上保安庁が、平素から円滑に空港を利用できるよう枠組みを設けるもので、民生利用を主としつつ、必要に応じたインフラや周辺道路の整備が図られます。

対象は平時の利用（年数回程度の訓練）であり、有事想定ではなく、米軍利用ありません。訓練を通じ空港の特性を熟知することで、災害時の確実な部隊・物資の展開につなげる目的です。国は12月上旬頃までの回答を求めており、県は今後、地元市町や関係者と協議の上で受入の可否を判断する方針です。

Q

12月上旬という短い期限の中で、地元関係者を含めて受入可否の協議が十分できるか。

A

期間が限られた中ではあるが、地元に対し正確な説明により理解を得た上で進めてもらうよう、こちらからも県へ働きかけていきたい。

議会をもっと身近に！

オンラインで議会を傍聴しませんか？

市議会でどのような議論がされているのか、ご覧になったことはありますか？傍聴してみたいけど、議場に行くのは少しハードルが高い…という方もご安心ください！島田市議会では、議会の様子をインターネットで中継しています。スマートフォンやパソコンから手軽にご視聴いただけます。

また、過去の議会の録画配信も行っています。

島田市の未来を決める大切な議論が行われています。ぜひこの機会に、インターネット中継を活用して市議会を身近に感じてみてください！



島田市議会映像配信サイト

こちらのQRコードを読み取っていただくか、
<https://shimada-city.stream.jfit.co.jp/> へ
アクセスしてください。



ここが知りたい！



一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する内容全般についての考えを聞く
一般質問には16人が登壇しました。

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。



質問項目	質問議員	ページ
指導と支援	たき 瀧 好 伸	11
公共交通再編	うち 内 だ 田 おさむ 修	12
駅前道路の活用	まつ 松 もと 本 あきら 晃	
まちなか活性化	おお 大 いし 石 ある 歩 ま 真	
団地共同浄化槽	かわ 川 い 合 とし 利 や 也	13
第2次観光戦略	み 三 むら 村 たか 隆 ひさ 久	
都市政策	いし 石 かわ 川 しん 晋 た 郎	
市教育センター	や 八 ぎ 木 のぶ 伸 お 雄	14
茶業日本一奪還	なか 仲 だ 田 あきら 明	
単身高齢者支援	おお 大 ぜき 関 きぬ 衣 よ 世	
第3次総合計画	よ 四 つ や 谷 めぐみ 恵	15
命守る政策を	あお 青 やま 山 まさ 真 とら 虎	
島田市市営住宅	そ 曾 ね 根 たつ 達 ひる 裕	
移動手段を守れ	もち 望 つき 月 ふみ 史 ひこ 彦	16
市街地の活性化	あま 天 の 野 ひろし 弘	
くらし応援	いわ 岩 さき 崎 よし 好 み 美	

各議員の顔写真の横の二次元コードから、一般質問全文を掲載した会議録と、録画映像を見ることができます。過去の定例会の質問もご覧いただけますので、ぜひご活用ください！



指導と支援

たき よしのぶ
瀧 好伸議員が問う

外国籍児童生徒の日本語指導は



【答弁】 指導は県、市雇用の7人の指導



子供たちの成長を支える教育環境の整備は、行政が不断に取り組むべき責務と考える

- Q** 日本語指導が必要な児童生徒の現状はどうか。
- A** 今年度は、平成29年度の11人から3・4倍増の37人で、国籍は8カ国。学年別では小学生が20名、中学生が17名である。
- Q** 指導体制の現状はどうか。
- A** 指導員は、県の雇用5名（学習内容の定着や日常会話の指導）と市の雇用2名（日常生活に必要な読み書きの練習）で日本語指導を行う。
- ヤングケアラーの支援**
- Q** 実態把握できた児童生徒数は。
- A** 令和5年度～7年度で9人。
- Q** 本人、保護者に対する支援の具体的配慮事項は。
- A** 本人の意思及び家族の同意の確認、プライバシーの保護、信頼関係の構築。秘密保持等に配慮し対応している。

公共交通再編



公共交通再編も災害対策も喫緊の課題。スピード感をもって対応を

うちだ おさむ
内田 修 議員が問う
公共交通が衰退している要因は



答弁 人口減少、利便性が低い、自動車があるから

- Q** 路線縮小や減便による高齢者や交通弱者への影響の検証は。
- A** 利用者減少のみを理由としたコミュニティバスの路線縮小や減便は行っていないため、検証は実施していない。
- Q** 公共交通再編に際し、地域ごとの中長期計画と年間計画があるか。
- A** 地域ごとの計画はない。
- Q** 自家用車への依存度低減といった視点での施策検討はするか。
- A** 一つの観点だと思うが、検討の予定はない。
- 災害時における飲み水とトイレ**
- Q** 当市の飲料水の備蓄量は。
- A** 想定避難者数約3万5千人の約1日分を備蓄している。
- Q** 飲料水やトイレ用水の確保には井戸の活用が有効だが、水質検査費用の補助は考えているか。
- A** 災害時に水質検査をしたい場合は対応できる。

駅前道路の活用



歩道や車道などの道路空間は行政が管理し、にぎわい創出に活用できる貴重な資源

まつもと あきら
松本 晃 議員が問う
道路などの公共空間の活用を



答弁 回遊性の向上やにぎわい創出に有効と認識

- Q** 中心市街地をにぎわいがあふれ滞在したくなる空間へ転換していく。直近の好事例となる常モール・常テラスの成功要因は何か。
- A** 市内では比較的人が集まる場所に、緑のある幅広い歩行空間を整備したことで、出店者にとって良い条件がそろったと捉えている。
- Q** 駅前広場の民間活用として、どのようなプロジェクトやイベントなどを市は期待しているか。
- A** まちの玄関口となる島田駅の駅前広場を起点に、まちなかへの回遊が広がるような民間によるイベントが開催されることを期待している。民間の皆さまが活用しやすい環境を整えていきたい。
- Q** 島田駅前エリアの市民アンケート調査から得た知見は何か。
- A** 駅前付近には快適に滞在、滞留できる居場所づくりが求められていることが分かった。

まちなか活性化



完了ではなく出発点だ。次の50年へ、子ども達が誇れるまちの顔を官民で育てる

おおishi ある ま
大石 歩真 議員が問う
中心街区の再開発計画はあるか



答弁 区画整理事業が完了しており、計画はない

- Q** 中心街区調査の実態は。
- A** 遊休物件78件を調査し、40件が回答。平均築年数は44・5年、旧耐震基準は69%、相続取得は85%、抵当権残存は52%。活用意向は35%で老朽化や権利関係に課題が見られる。
- Q** 中心市街地活性化基本計画を方針として継続する意図は。
- A** 新たなハード事業が具体化した際、国の認定計画へ移行し、優遇策を活用する柔軟性を残すため。
- 放課後児童クラブの現状**
- Q** 学童の待機児童数は。
- A** 5月1日時点で32人。高学年需要増加と希望校区への集中が要因。
- Q** 待機のある校区への対策は。
- A** 待機は出生数の低下に伴い減少する。施設拡張の予定はない。
- Q** 育休中利用へ独自の要件緩和は。難しい。個別相談にて対応する。

団地共同浄化槽



大規模団地共同浄化槽は、施設老朽化と住民高齢化により、民間管理の限界到来

かわいとしや
川合利也議員が問う

ばらの丘団地共同浄化槽支援を



答弁 民間施設であり、市による支援、救済は不可

- A** 市担当課での助言は実施する。
- Q** 共同浄化槽施設の所有権を市に移転し、管理移管できないか。
- A** 現時点では、100%不可能。
- Q** 公共下水道をばらの丘まで延伸させる計画はあるか。
- A** 現時点では、延伸計画はない。
- Q** 市内既存3団地や公共下水道地域では、利用料収入を超える公的資金が投入されているが、ばらの丘はゼロ。不公平ではないか。
- A** 既存3団地や公共下水道は市所有、ばらの丘は民間所有。前提が異なるので不公平ではない。
- Q** 全戸個別浄化槽切換の場合、全400戸の全会一致の決議と難易度が高い。激変緩和措置とも言うべき特別支援を検討できないか。
- A** すでに切換実施済みの他の団地との衡平上、特別扱いはいできない。
- Q** 住民理解を深めるための説明会に市職員も参加し助言して欲しい。

第2次観光戦略



これからも「稼ぐ観光」を目指して
出典：謎解きリアルRPG「川根に消えた野守の秘密」チラシ

みむらたかひさ
三村隆久議員が問う

前観光戦略プランとの変更点は



答弁 インバウンド客の誘致強化と観光人材育成

- Q** 前観光戦略プランの評価は。
- A** 主要指標はおおむね達成した。
- Q** アクションプランの変更点は。
- A** 新たに位置付けたインバウンド強化のための施策を追加した。
- Q** 効果検証はどう行うか。
- A** KPIとデータ分析で検証する。
- Q** 既存の観光資源の磨き上げによる当市の目的地化の推進はどうか。
- A** 蓬萊橋と川越遺跡を重点的に取り組んでいる。誘客のため、情報発信を行っていく。
- Q** 周遊促進の具体策は。
- A** 複数のコンテンツを合わせた魅力的な観光商品の開発に取り組む。
- Q** 観光人材をどう育成するか。
- A** 市、観光協会、地域事業者が連携した取り組みと、学生への働きかけで観光への関心を醸成する。
- Q** 人材育成の成果の評価基準は。
- A** 観光ボランティアの活動件数やガイド育成件数を評価指数に設定。

都市政策



時代の変化を取り込むことは、全ての政策にとって重要である。

いしかわしんたろう
石川晋太郎議員が問う

市立地適正化計画の見直しは



答弁 基礎データの修正や目標値の達成状況の確認

- Q** 平成28年、令和7年までの旧市内・大津地区および六合地区の自然増減と社会増減累計を伺う。
- A** 旧市内・大津地区の自然増減は2555人減、社会増減は96人増。六合地区の自然増減は43人減、社会増減は596人増。
- Q** 六合地区の平成28年と令和7年の出生数減少率を比較すると、市内他地区に比べ極端に低い。当局はどのように捉えているか伺う。
- A** 市内で唯一、20代、30代、40代の日本人女性が転入超過となっている地区である。子育て世代に選ばれている可能性がある。
- Q** 人口増加地区が居住誘導区域に指定されていないことは、人口減少対策の面からも、理解できない。改めて、当局の見解を伺う。
- A** 公共交通や都市機能等の状況、農用地区域であることを踏まえ、居住誘導区域に含んでいない。

市教育センター



体の不自由な子供も、不登校の子供も、全ての子供達が夢と希望の持てる教育を

やぎのぶお 八木 伸雄 議員が問う 不登校児童生徒の生活支援は



答弁 心の状態を確認し、一人一人に応じて支援

- Q** 不登校児童生徒の実態を伺う。
- A** 児童114人、生徒190人、合計304人が不登校である。
- Q** 2年で49人増加し、全児童生徒の4%。成人のひきこもり人数は約千人と推察する。
- A** ひきこもりと不登校の関係性は、全体の約23%が小・中学校時代の不登校が原因と回答している。
- Q** 不登校児童生徒がひきこもりになることは絶対避けたい。将来に夢や希望を持ち、学校と家庭から巣立つための学習支援を伺う。
- A** 校内教育支援センター、市教育センター「チャレンジ教室」等、さまざまな学びの場を整える他、家庭学習用プリントの配布を行う。
- Q** スクールソーシャルワーカーとカウンセラー、教師の人的支援が重要だ。人材確保と資質の向上は。
- A** 実情に応じた人員配置と、研修等で教員の資質向上に努めている。

茶業日本一奪還



需要の変化に勇気をもって対応する茶農家を強く応援しよう

なかだ あきら 仲田 明 議員が問う 抹茶の生産、輸出の支援を



答弁 県と協調してブランド構築し世界へ売り込む

- Q** 荒廃茶園、農地の再生に力を。
- A** 山の急傾斜や不整形などにより耕作条件が悪い土地が多く困難。
- Q** 平地の耕作条件が良いところでも荒廃化しているが。
- A** 農業者の高齢化のほか相続登記の未了、住所変更の未登記などによる所有者不明などが要因である。
- Q** 有機転換推進事業とは何か。
- A** 有機転換に必要な経費相当額を初年度の農地面積に応じて、10アール当たり2万円以内で支援する。
- Q** 円安の今、輸出を振興すべきだ。
- A** 県が静岡茶ブランドを構築しており、協調し世界市場を目指す。
- 小学校の英語教育推進**
- Q** 最優先目的は何か。
- A** 英語への肯定的、積極的な態度を養い、以降の本格的な学習への接続と生涯の学習意欲を構築する。
- Q** そのために工夫していることは。クイズやゲームを活用している。

単身高齢者支援



自分自身の大事な今後のことを「もしもの安心ノート」を使って考えてみませんか。

おおぜき きぬよ 大関 衣世 議員が問う 身寄りのない方への支援を



答弁 新しい公的サポート制度の準備を進めていく

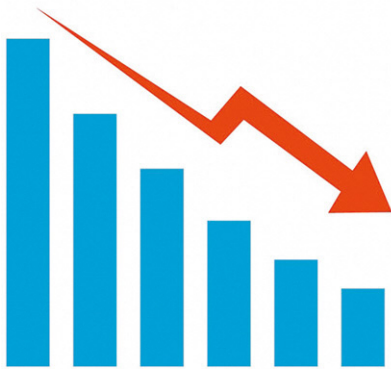
- Q** 市の単身高齢者数の状況は。
- A** 令和7年度末現在で6471人であり、年々増加している。
- Q** 単身高齢者や身寄りのない方に関する支援や課題は何か。
- A** 訪問による見守り事業、成年後見制度利用支援や「もしもの安心ノート」の活用を進めている。課題は、収入や資産がない方は、民間の死後事務サービス等の利用が難しいことや、自身の事情に踏み込まれることに抵抗感を示され、早期支援に結びつかないことだ。
- Q** 社会福祉法の改正を見据えた今後の取り組みは何か。
- A** 日常生活の支援や入院・入所時の身元保証を代替する支援、葬儀などの死後事務等を行うエンディングサポート事業について、十分な経済力がない人でも低額で利用できる、新しい公的サポート制度を関係機関と連携し準備していく。

第三次総合計画

よつやめぐみ 四ツ谷 恵 議員が問う 第3次総合計画の力点は



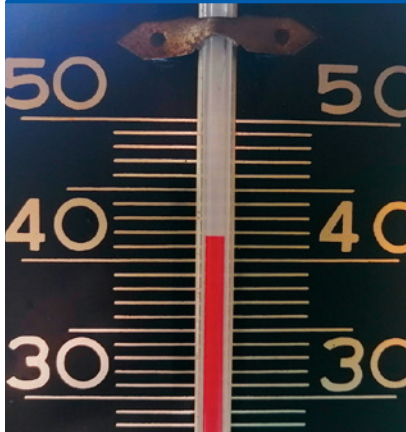
答弁 持続可能なまちづくりを推進する



人口を増やす挑戦が、子育て・雇用・定住を促進し、市税増で明るい未来をつくる。

- Q** 人口減少を最優先課題と考えているか。第3次総合計画の重要施策を3つ挙げるとしたら何か。
- A** 人口減少は重要課題ではあるが、減少前提に課題克服を図り、子育て支援、企業誘致、移住定住の施策を促進する。
- Q** 教育支援として小・中学校の不登校の現状と支援体制はどうか。中学校の給食支援の考えはどうか。
- A** 不登校は直近5年間で5割増加した。学校教育支援センターやオンライン学習等につなげていく。中学校の給食費無償化は、市単独では困難なため国へ要望していく。
- Q** ホルムズ海峡閉鎖に伴う原油価格高騰等による地域経済への影響についてどう対応・支援できるか。
- A** 市として実情把握に努める。経済団体や金融機関と連携し各種補助等活用で適宜対応している。総合実施計画は毎年度見直しを図る。

命守る政策を



学校体育館クーラー設置や今回の冷凍庫も数度目の質疑。気候変動対策は急務。

あおやま まさとら 青山 真虎 議員が問う 水害対策の実施率89%は本当か



答弁 要望9件中5件着手している

- Q** 体育館のクーラー、設置完了は。
- A** 全小・中学校への設置は9年後。
- Q** 登下校時のクールバンド冷却のための冷凍庫の設置は。
- A** 暑くなる前の6月中には設置。
- Q** 屋外労働者の空調服購入への補助、予算切れの際は補正を組むか。
- A** 今のところ予定はない。
- Q** 駅、市役所、学校へ給茶機を。
- A** 今のところ予定はない。
- Q** 要望に対する水害対策の実施率89%との答弁だが、調査だけで、改良工事していないのではないか。
- A** 要望9件に対して5件着手した。
- Q** 水害を把握しているが、自治会要望がなく未対応地点は何か所か。
- A** 今は情報を持ち合わせていない。
- Q** リニア水問題の永久補償
- Q** 工事で水が減った場合の水、経済的損失の補償を明記すべきでは。
- A** 補償確認書に費用負担の明記があり、金銭的補償と解釈している。

島田市市営住宅



近年は急激な人口減少、少子高齢化など住宅施策の大きな転換期を迎えています。

そね たつひろ 曽根 達裕 議員が問う 市営住宅に対する基本方針は



答弁 住まいのセーフティーネットとして重要だ

- Q** 市営住宅等長寿命化計画に示されている方向性と取り組みは。
- A** 長寿命化を図る団地は3団地で、改修工事を計画的に実施している。
- Q** 入居者の高齢化が進んでいる中、見守り・生活支援の仕組みは。
- A** 公社と福祉部局が連携し、高齢者の見守りや生活支援を行う。
- Q** 市営住宅コミュニティの維持と共用部管理の負担軽減策を伺う。
- A** 維持管理の一部を公社に依頼し、入居者の負担軽減に努める。
- 中央公園ほか6施設の現状**
- Q** 指定管理を一括発注している効果と検証は。
- A** 一括管理で経費を削減しデメリットはない。毎月効果を検証中だ。
- Q** ばらの丘公園の入居者増加に向けた、新たな取り組みの内容は。
- A** 多彩なイベントやイルミネーションで公園の認知度向上と集客促進を図る。

移動手段を守れ



コミュニティバスなどの公共交通は、生活するためにますます重要になっている。

もちづき ふみひこ 望月 史彦議員が問う 公共交通の課題と対策は



答弁 地域ニーズに合わせた移動手段を推進する

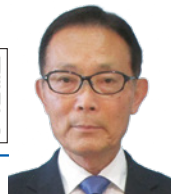
- Q** コミュニティバスの現状と継続して運用していくための対策は。
- A** コロナ禍以降の利用者数は緩やかな回復傾向にあるが、以前の水準への回復は困難。路線の単純維持ではなく、「移動手段の確保」を目指し、六合南線の普通タクシー化による経費削減や、伊久身地区「ゆめバス」の地元主体運行の支援など、地域ニーズに合わせた移動手段の最適化を推進する。
- 公共下水道事業について**
- Q** 下水道事業の財政健全化と老朽化対策の進捗、水洗化向上に向けての取り組みは。
- A** 人口減少等により使用料は予測より減収だが、経営への大きな影響はない。汚水管渠は健全だが、島田浄化センターの老朽施設は計画的に改築する。また、水洗化率向上のため、事業所への戸別訪問などを行い普及啓発に努める。

市街地の活性化



リノベーションまちづくりにより新たな魅力を生み出した静岡市人宿町（先進例）

あまの ひろし 天野 弘議員が問う 中心市街地の活性化、どうする



答弁 意欲的な業者とのマッチングを再構築する

- Q** 本通六、七丁目エリアで実施されたリノベーションまちづくり推進事業の成果を伺う。
- A** 参加者のうち5人が創業した。牽引役となる業者の不在や物件のリノベーションの難しさが課題。
- Q** まちなか商店リニューアル事業等の成果は。
- A** 7年間延べ41件に補助金が交付され、既存店舗や新規出店による魅力が中心市街地に生まれた。
- Q** リノベーションまちづくりの手法をどう評価し今後取り組むのか。
- A** 大規模な再開発が見込まれない中、同手法は有効と認識。意欲的な業者とマッチングさせていく。
- 重層支援事業の取り組み状況**
- Q** 包括的相談窓口の成果はどうか。
- A** 1年半で60件、このうち9件が支援会議等で取り扱われた。
- Q** 同支援事業が抱える課題は何か。事業に精神障害等の関与が多い。

くらし応援

島田市くらし応援チケット

三 MENU



事務費に1億円をかけ、チケットの利用は7月からとスピード感を感じない。

いわさき よしみ 岩崎 好美議員が問う 給付を現金にしなかった理由は



答弁 地域内経済を循環させるため

- Q** 昨年12月に措置された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の概要と配分状況は。
- A** 交付金全体で9億9804万3千円。そのうち食料品の特別加算は3億5388円。
- Q** 交付金を活用した事業の具体的な内容は。
- A** 島田市くらし応援チケット事業、医療・介護施設、障害福祉サービス、保育所等の事業継続臨時支援事業、他に農業生産資材等価格高騰対策事業、茶業施設エネルギー価格高騰対策支援事業。中小企業小規模事業者の賃上げ環境整備、先端設備導入費支援事業など全14事業。
- Q** 外国籍の生活保護受給者にもくらし応援チケットの配付はあるか。
- A** 令和8年4月1日に当市に住民登録のある方が対象なので、含まれている。

6月 定例会

公共施設の利用料に係る条例 改正など、2件の議案を否決

議案第40号 島田市民総合施設条例の一部を改正する条例について 議案第41号 島田金谷生きがいセンター条例の一部を改正する条例について

島田市の公共施設2施設において、利用料金の上限額を見直すため、条例の一部を改正するもの。採決の結果、賛成9人、反対10人となり、賛成少数により否決としました。

次のページに、本議案に対する討論を掲載しています。

ここがポイント！

- ◆従来、公共施設に関する利用料の金額設定については、定まった基準がなかったが、今回利用料の基準に関するガイドラインが設定された。
- ◆平成17年の市町合併以来、消費税率に伴う改正はあったものの、利用料の見直しについては20年以上行われてこなかった。
- ◆受益者に応分の負担を求めるもので、上限額は現行のおよそ1.5倍となる。
- ◆上限額を定めることで、指定管理者は利用状況や企画内容に応じて利用料金を段階的に設定できるようになり、経営の幅が広がる。これにより、運営費の高騰に対応した施設運営が可能となる。

議案に対する賛否一覧 令和8年6月島田市議会定例会

氏 名	松本晃	横山香理	瀧好伸	曾根達裕	石川晋太郎	井上篤	仲田明	内田修	天野弘	横田川真人	四ツ谷恵	望月史彦	川合利也	大関衣世	三村隆久	大石歩真	青山真虎	岩崎好美	八木伸雄
議 案																			
会 派	清流の風								創造島田	輝く島田	日本共産党島田市議団	公明党島田市議会	無会派						
【議案第40号】 島田市民総合施設条例の一部を改正する条例について	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○
【議案第41号】 島田金谷生きがいセンター条例の一部を改正する条例について	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○

○：賛成 ×：反対 △：棄権 ー：欠席又は除斥

※議長(清水唯史)は採決に参加しません。 ※賛成・反対の分かれた議案の結果を掲載しています

討

論

市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。6月定例会では、17ページに掲載した2議案について討論が行われ、賛成・反対の意見が表明されました。

【議案第40号】島田市民総合施設条例の一部を改正する条例について

【議案第41号】島田金谷生きがいセンター条例の一部を改正する条例について

議案第40号、議案第41号は、ともに島田市の施設の利用料の改定に係る議案です。実際は議案ごと個別に討論を行っておりますが、議会だよりにおいては一括して掲載しています。



大石 歩真 議員

市民の顔が見える議論を

反対

受益者負担の考え方は否定しない。将来的な施設維持のため、利用料の見直しは必要と考える。しかし、利用料上限を現行の1.5倍とする根拠、利用者への影響把握、公共施設の役割など、これらの整理が十分に示されていない。市民の顔が見える議論が十分に行われないまま、利用料の上限だけを引き上げることには賛成できない。

天野 弘 議員

見直さざるを得ない

賛成

改正額が現行料金の1.5倍に大幅な値上げとなる利用料については、段階的な値上げなどの激変緩和の措置が取られるものと確認している。今回の改正の見送りは、次期の指定管理者の収入減にもつながり、指定管理者の円滑な運営にも影響を与えかねない。以上を考慮した結果、利用料の見直しをせざるを得ないものと判断し、賛成する。

松本 晃 議員

利用者減少対策が不十分

反対

今回の変更により、利用者の減少が見込まれる。前期基本計画では文化施設の利用者数を成果指標としており、減少分を補う施策が求められる。また、中心市街地におけるにぎわい創出の方針とも乖離しており、政策全体の方針との整合性に疑問が生じる。代替方法や施設の自主事業収入増など、利用者をできる限り減らさない方向での検討が不十分である。

八木 伸雄 議員

公平性の観点

賛成

本議案は運営費の応分の負担を受益者に求めるもので、その負担を、利用していない市民も含む税金だけで補填することは適正でないと考える。加えて増額に当たっては、基準に基づきながら、緩和措置された額で設定されている。市民の公平性の観点と、健全な財政運営を求められていること、次世代へのツケを極力増やすべきでないことから、賛成する。

望月 史彦 議員

値上げは慎重な検討を

反対

今回の改正案は、長引く物価高騰やエネルギー価格の上昇により困窮する市民に寄り添う姿勢が見えない。また、コロナ禍から回復しつつある市民の文化的な活動を後退させかねない。市民に負担を転嫁する前に、まずは指定管理者によって経費削減の努力を尽くすべき。その検証がまだ不十分なまま、安易に使用料を上げることは容認できない。

青山 真虎 議員

生きがい拠点値上げ反対

反対

おおり同様、夢づくり会館も市民から料金値下げの要望を受けた。値上げは市民サイドとして了承できない。ロビーの雨漏りが数年経ちようやく直ったが夢づくりに限らず金谷のインフラは手入が遅れているので、意識を。少しの値上げが大きく影響。金谷の生きがい、夢づくりの拠点だ。再考を。

※青山議員は、議案41号のみ反対討論

本会議・常任委員会などの議員出欠状況

令和8年6月定例会期中の本会議及び委員会などへの出欠状況を記載しています。
「○」は出席、「△」は遅参・早退等、「×」は欠席、「－」は所属外であることを表しています。

議長																					
開催日	内 容	松本 晃	横山 香理	瀧 好伸	曾根 達裕	石川晋太郎	井上 篤	仲田 明	天野 弘	横田川真人	川合 利也	大関 衣世	四ツ谷 恵	望月 史彦	内田 修	清水 唯史	三村 隆久	大石 歩真	青山 真虎	岩崎 好美	八木 伸雄
会派		清流の風							輝く島田		公明党 島田市議会		日本共産党 島田市議団		創造島田						
6月3日	議会運営委員会	－	○	－	○	－	○	－	○	－	○	○	○	－	○	○	－	－	－	－	－
	本会議（初日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務生活常任委員会	－	○	○	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－
	予算・決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
6月11日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月15日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	本会議（議案質疑）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広報・主権者教育に関する特別委員会	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	○	－	－	○	○	－	○	－
6月18日	厚生教育分科会・常任委員会	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	－	－	○	○	－
	経済建設分科会・常任委員会	－	－	－	○	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○
6月19日	総務生活分科会・常任委員会	－	○	○	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－
	経済建設常任委員会	－	－	－	○	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○
6月23日	予算・決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
6月30日	議会運営委員会	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○	－	○	○	－	－	－	－	－
7月1日	本会議（最終日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広報・主権者教育に関する特別委員会	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	○	－	－	○	○	－	○	－

永きにわたる議員活動に対する表彰！



去る4月23日に開催されました東海市議会議長会の第109回定期総会と、5月27日に開催されました全国市議会議長会の第102回定期総会において、本市議会から、10年以上の在籍による市政の振興に努められた功績をもって、横田川真人議員が表彰されました。7月1日の本会議最終日に表彰状の伝達を行いました。

横田川議員からは「こうして10年の表彰を受けられるのも、議員の皆様、行政当局の皆様、そして議会事務局の皆様、そして、何よりも市民の皆様のお支えあってのこと、大変感謝申し上げます。」とあいさつがありました。



編集後記

今年度最初の議会だよりをお届けします。今年から「広報・主権者教育に関する特別委員会」へと名称を改め、新メンバーでスタートしました。島田市の主権者は、市民です。小学生や中学生にも、「自分もまちをつくる一員なんだ」と感じてほしい。そんな思いから、今号は中学生の皆さんに登場していただき、デザインも一新しました。若い世代にも手に取ってもらい、議会やまちを身近に感じてほしい。議会だよりが、市民と議会をつなぐ「橋わたし」になれば嬉しいです。



広報・主権者教育に関する特別委員会

【委員長】大石 歩真
【副委員長】大関 衣世
【委員】松本 晃、望月 史彦
三村 隆久、岩崎 好美

9月定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。市役所4階の議会事務局までお越しください。

インターネット中継もどうぞ

本会議（水色のラインで示された日）は島田市議会ホームページの「会議の映像配信」でもご覧いただけます。



日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28	29
	議会運営委員会 本会議 (初日)					
30	31	9/1	2	3	4	5
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (議案質疑)	予算・決算特別委員会 厚生教育分科会・ 常任委員会	予算・決算特別委員会 経済建設分科会・ 常任委員会	予算・決算特別委員会 総務生活分科会・ 常任委員会	予算・決算特別委員会 分科会・常任委員会 (予備日)	
13	14	15	16	17	18	19
		予算・決算 特別委員会				
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日		議会運営 委員会	
27	28	29	30	10/1	2	3
	本会議 (最終日)					

開始時間 午前9時30分

日程は変更となる場合があります。最新の情報は、ホームページまたは電話にてお問合せください。